

感謝を胸にプロ野球での活躍誓う！

第103回全国高等学校野球選手権大会でチームを準優勝に導き、2021年プロ野球ドラフト会議で阪神タイガースから4位指名された、津市出身で智辯学園高校3年生の前川右京選手。今回の市長対談では、前川選手を地元の白塚市民センターに迎え、子どもの頃や甲子園での話、そしてプロ野球選手として歩み始める意気込みなどを伺いました。

市長 ドラフト会議当日はどこで迎えられましたか。

前川 智辯学園の一室で、監督、部長と3人で待機し、指名後、隣に設けていただいた会見場へ移動しました。

市長 前評判が高く、指名は確実という予測でしたね。

前川 不安な気持ちもたくさんある中で指名していただいたので、とてもうれしかったです。

市長 プロに進み、高校野球とはいろいろな違いがあると思います。例えばバットは金属から木製に変わりますよね。

前川 木製は芯で打たないとボールが飛ばないので、ヘッドを走らせコンパクトに打つという形が理想です。そして、力だけでなく体の回転の中でボー

ルを捉えるように意識して練習しています。

市長 すでにプロ野球選手としての準備に入られていますが、小学生の時はソフトボール、中学生の時は硬式野球でそれぞれチームを全国大会へ導く活躍をされました。小学1年生からソフトボールを始められたきっかけを教えてください。

前川 チームの団長さんが兄を誘ってくださったときに、自分の方が先に参加を希望したことが始まりです。

市長 ここ白塚市民センターのグラウンドで練習されていたのですよね。

前川 小さい頃から練習してきたグラウンドなのでとても大事な場所です。楽しい一心で、ずっとボールを追いかけていたことを懐かしく感じます。

市長 中学生になり硬式野球の津ボーイズに入りました。ソフトボールから野球に変わっていかがでしたか。プロへの意識はこの時からあったのですよ

うか。

前川 まだ全然なかったです(笑)。塁間など何に関しても距離が長くなり、ボールの硬さや大きさも違ったりして、少し感覚が違うなと思いました。スムーズに移れたと思います。

市長 そして高校進学。お兄さんの夏輝さんは津田学園、右京さんは奈良県の強豪・智辯学園に進みます。

前川 兄と同じ津田学園という選択肢もありましたが、兄がいるから甘えが出るかなという思いもあり、挑戦するんだという気持ちで智辯学園に入学させていただきました。

市長 チャレンジする強い気持ちの一方で、寮生活などへ不安はありませんでしたか。

前川 ありましたが、それ以上に野球をさせていただく環境がとても優れていて、中途半端なことはできないという気持ちでした。良い指導者さん、グラウンド、寮生活、全てにおいて整っ

ていたことに感謝しています。

市長 1年生の夏の甲子園で、四番を任されている姿に驚きました。どのような気持ちで臨まれましたか。

前川 試合に出られない3年生がたくさんいる中で出させていただいたので、きちんとした行動や責任のあるプレーをしなければという気持ちがありました。

市長 プレッシャーもあったでしょうね。

前川 四番を打つからには学年は関係ないと思うので、そこは引くことなくいけたかなと思います。

市長 その時の三重県代表が津田学園で、兄・夏輝さんが3年生で出場されました。2人が並ぶ姿が報道され、津市の皆さんはとてもうれしかったと思います。このときお兄さんとは話をされましたか。

前川 甲子園という舞台で対戦できたら良いなとは話しました。それは叶いませんでしたが、一緒に出られたことはとても良い思い出になりました。

市長 2年生の時は新型コロナウイルス感染症の拡大で夏の甲子園が中止になり残念でしたね。

前川 はい。泣き崩れる先輩たちの姿を胸に刻み、自分たちが全力でプレーしていかなければという気持ちにもなりました。

市長 祈るような気持ちで迎えた3年

生の夏、甲子園大会が開催され最高学年で智辯学園の主砲として、どんどん勝ち上がりました。調子はいかがでしたか。

前川 春の甲子園敗戦の悔しい気持ちから、最後の夏は自分の力を最大限に出すためにモチベーションを上げて取り組んできたので、やるべきことはやりきったという気持ちで臨みました。

市長 夏の甲子園6試合で打率4割5分5厘。決勝戦は敗れたものの3安打、それまでに2本のホームランも放たれました。よく打ちましたね。

前川 そうですね。でもまだ打てたところもあったと思います。

市長 決勝戦は智辯と歌山との智辯対決が注目されました。甲子園で活躍する両チームの対戦はレベルの高い良い試合でした。準優勝という結果を導かれた最後の甲子園。総括していかがでしたか。

前川 甲子園という舞台に何回も出させてもらうことはなかなかないと思うのですが、メンバーにとても恵まれたという気持ちです。自分一人ではやってこれなかったですし、いろいろな方のサポートがあり、ここまでやってこれたと思います。

市長 その智辯学園が津で見られるはずでした。三重とこわか国体では高校野球が津球場で開かれる予定で、6億5,000万円ほどかけて改修して準備を



整えていたのですが中止になり残念でした。津球場での思い出はありますか。

前川 中学校生活最後の夏の大会、全国大会出場を決める決勝戦で、敗れましたが津球場で試合ができました。

市長 また地元で前川選手の雄姿を子どもたちに見せていただける機会があることを期待しています。子どもたちにとって憧れの選手である前川選手から何かアドバイスはありますか。

前川 小さい頃は全力で楽しむことが一番大事だと思います。遊ぶ時は遊ぶことに全力、そしてバットやボールを握る時も全力で取り組むというメリハリのある生活を送ると、良い結果が生まれてくると自分は思います。

市長 まっすぐに自分の全てを懸ける真摯でひたむきな姿勢を前川選手から感じます。最後にプロ野球に懸ける思いなどをお聞かせください。

前川 ここで満足していたらダメだと思うので、1年目から引くことなく自分のプレーをできるように、そして1年目から一軍で活躍できる選手になれるように頑張りたいです。

市長 津市民の皆さまとともに応援させていただきます。

1年目から自分のプレーを頑張ります！

プロ野球での活躍を期待しています

智辯学園高校3年生
前川 右京さん
MAEGAWA UKYO

2003年津市生まれ。白塚小学校1年生のときに白塚バップアローズでソフトボールを始め、一身田中学校入学後、硬式野球チームの津ボーイズでプレー。智辯学園高校では1年生の春からレギュラーに定着した。高校通算37本塁打、2021年高校生No.1スラッガーとも評された。

津市長
前葉 泰幸
MAEBA YASUYUKI

市長対談の全編がご覧いただけます！
MAYOR'S TV SHOW

◆ 津市ホームページ 津市 市長対談 検索
◆ ケーブルテレビ行政情報番組(123ch)

